

進学・進級の季節を迎え、子どもたちの成長を実感する時期となりました。

学校保健統計調査は、毎年、幼児・児童・生徒の発育や健康状態を把握する調査です。今回は、その結果から児童等の身長の状況を紹介します。

まず、児童等の身長を地域別にみると、全国的には東日本で高く、西日本で低い「東高西低」の傾向が見られます。11歳男子では秋田県、青森県、山形県など東北地方で身長が高く、反対に沖縄県、島根県、山口県など中国・九州地方で低い傾向があります。14歳男子（中学3年生）でも同様に、東日本の県で高く、西日本の県で低くなっています。こうした傾向は女子や他の年齢層でも共通しており、その要因を特定することは難しいものの、調査結果からは、身長に地域による傾向がみられることが確認されています。

この全国的な傾向の中で、山口県をみると、11歳（小学6年生）男子の平均身長は144.9 cmで、全国平均（146.1 cm）を1.2 cm下回っています。女子も146.7 cmと、全国平均より0.7 cm低い結果となりました。このような傾向は他の年齢層（5～17歳）でも見られ、やはり山口県の児童等は、やや小柄な体形であることが分かります。

一方、調査開始時の昭和23年（1948年）と令和7年の全国平均の身長を比べると、11歳男子は15.7 cm、11歳女子は16.6 cmと、いずれも15 cm以上伸びています。戦後の生活環境の改善などにより、児童等の発育が着実に促されてきたことがうかがえます。

学校保健統計調査の結果は、文部科学省のホームページで過去データと共に公表されています。

年齢別の平均身長(男子)

11歳(小学6年)

順位	都道府県	身長(cm)
1	秋田県	148.0
2	青森県、山形県	147.4
4	宮城県、新潟県	147.1

=

-	全国	146.1
---	----	-------

=

44	鹿児島県	145.1
45	島根県、山口県	144.9
47	沖縄県	144.8

14歳(中学3年)

順位	都道府県	身長(cm)
1	青森県	167.2
2	秋田県	167.0
3	富山県	166.9

=

-	全国	166.1
---	----	-------

=

43	香川県、愛媛県	165.2
45	高知県、鹿児島県	164.9
47	山口県	164.7

出典:文部科学省「令和7年度学校保健統計調査」